

継続客を作る方法

継続客を作る方法①

繰り返し、何回も来店していただけるお客様を作る仕組みを作っていますか？
そのためには、まず、お客様の名前を知ることです。あなたのお店は、お客様の名前を知る仕組みがありますか？



対策

1. もう一度来店して頂きたいお客様は**名刺を頂く**。人が一番関心があるのは自分の名前であり、人(お客様)は自分に関心を持つ人が好きになる。**名前で声かけをする**。
2. 何回来店されていて、名前がわからない方や、聞きそびれた方は、「**お客様台帳を作っています**」と言って、改めて再度自分から名刺をお出しして、**名刺を頂けるように願います**。すると7割の方がくれる。



継続客を作る方法②

初めて来店頂いたお客様は、まだ警戒心を持たれています。2回目もそうです。このようなお客様に対しては、常連客になっていただく緻密で丁寧な仕組みが必要です。

対策

1. **3回来店して頂くことに、まず目標を定める**。人は最低3回利用しないと、行動パターンに入らない。
2. **2回来店のメリット、3回来店のメリットを提供する**。
3. あるスナックは**3回来店で満点になるポイントカードを作成した**。これは美容室の集客の応用。

継続客を作る方法③

お客様は来店しなくなる理由には、店が嫌いになること以外に、次の2つの理由があります。ひとつはその店のことを忘れてたという理由、もうひとつは、その店に飽(あ)いた、ということです。いずれにしてもこの2つの理由が出ないようにしなければなりません。



対策

1. **売込みを抜きにしたハガキを1年に最低4回、できれば6回出す**。これは手書きが良い。絵手紙なら最高。文章もそれほどかからない。※アトムコーポレーションではポストカードの台紙の通信販売会社をご紹介します。
2. 飽きられないように**イベントを実施する**。これは小さなイベントでも良い。例えば、毎月第2火曜日は、きもの日など。
3. 但し、金曜日等の忙しい時にイベントを行うと、忙しくて常連さんを粗末に扱うので、逆効果になり、お客さんが流出する。**イベントは閑散期に行うこと**。

名曲には必ず、その曲が生まれた物語があります。これから毎回ご紹介していきたいと思います。

カラオケ名曲のへえ～あの名曲の誕生秘話

第9回は 坂本 九『上を向いて歩こう』

『上を向いて歩こう』は世界中の人への素晴らしいメッセージ

1961年7月、『第3回中村八大リサイタル』が幕を開けた時、「ウフッフムフティェアルコフフフフ…」会場の袖からステージを見つめていた永六輔は、「何なんですか、あれは!?! もっと歌のうまい人に歌ってほしい。日本語を大切に歌ってほしい」と永六輔は言った。しかし作曲家の中村八大は「**あれでいいんだよ。あれがいいんだ**」と言った。

その前の年、中村八大は、リサイタルの失敗や莫大な借金で薬物中毒に陥っていた。録音スタジオがあるビルの窓際で自殺さえ考えた。しかし「**私には音楽がある、幼い時からの夢がある。人生は楽しいはずだ。その素晴らしい人生にもう一度戻るために、もう一度苦勞すべきだ**」考え、薬物を処分し、禁断症状の日々を闘い抜き、地獄から生還した。

翌年、有楽町を歩いていて偶然、永六輔と中村八大は出くわし、そのまま中村八大の部屋へ向かい、徹夜で歌を作り上げた。

坂本九は、「上を向いて歩こう」の楽譜をマネージャーから渡された時、「**メロディに対して歌詞が少なく、間違いかと思った。どうしようかと思った。だから色々考えてああいう歌い方をしたんです**」

NHKの『夢であいましょう』で初めてこの歌が日本

全国に届けられた夜、10代や20代の若者は、誰もが心打たれた。

坂本九は、「『上を向いて歩こう』は僕だけの歌じゃない。**世界中の人の歌です**。」と言った。

坂本が言った通り、この歌は日本だけでなく世界中に知れ渡っていった。そしていまこれは、東北の大震災で傷ついた人たちの心を、勇気づける歌にもなっている。

上を向いて歩こう

作詞：永六輔 作曲：中村八大

上を向いて歩こう 涙がこぼれないように
思い出す春の日 一人ぼっちの夜

上を向いて歩こう にじんだ星を数えて
思い出す夏の日 一人ぼっちの夜

幸せは雲の上に 幸せは空の上に

(中略)

悲しみは星の影に 悲しみは月の影に
上を向いて歩こう 涙がこぼれないように
泣きながら歩く 一人ぼっちの夜 一人ぼっちの夜

行ったことありますか？

星野哲郎記念館

ちょっと足を伸ばして山口県の周防大島にある

『星野哲郎記念館』に行きませんか？

星野哲郎は、「**アンコ樗は恋の花**」「**昔の名前で出ています**」「**風雪ながれ旅**」「**兄弟船**」「**女の港**」「**雪樗**」「**みだれ髪**」など、多くの演歌の名曲を作詞しました。

山口県周防大島町平野の「**星野哲郎記念館**」では、日本を代表する作詞家・星野哲郎氏の世界を、聴いて、観て、唄って、お楽しみ頂けます。大迫力の「**星野劇場**」のスクリーンでは、平成24年4月より「**男はつらいよ**」(作詞：星野哲郎)と「**黄色いさくらんぼ**」(作詞：星野哲郎)の映像が追加されます。

■ 山口県大島郡周防大島町大字平野 417-11
TEL：0820-78-0365
開館時間：午前9時～午後5時
休館日：毎週水曜



大浦ヶ池を
清掃しています



アトムコーポレーションの
代表の入生 芳廣 です!

会社の前に『大浦ヶ池』という池があり、この池には次のような伝説があります。

『大浦ヶ池』の一带は、ため池が作られていたが、よく**土手が決壊**していました。村の衆は、**人柱を立てたら収まるのではないかと話**しますが、誰も人柱に立つ者はいません。そんなとき**庄屋の娘の『浦』**が、捨て子だった所を庄屋に育ててもらったお礼に、**人柱に立つ**と言います。こうして**決壊は収まりました**。大浦ヶ池は最近までタイヤは投げ込まれるや雑草は生い茂るやで、ひどい有様でした。10年ほど前、私たちは「**大浦ヶ池をきれいにする会**」という組織を作り、**定期的に清掃**する事にしました。今では公園のように整備され、**春は桜がとてもきれ**いです。これから10月までは、雑草が伸びるとと草刈との競争です。「**浦**」をまつている詞(ほくら)は大浦ヶ池にあります。

